

在学採用マニュアル

2021年度 日本学生支援機構
在学中に貸与奨学金を希望する皆さん

島根リハビリテーション学院における スカラネット下書き用紙記入要領 ・スカラネット入力要領【貸与】

スカラネット入力期限 4月22日(木)23:00まで

島根リハビリテーション学院における 手続きの流れ 【在学採用】

1.説明会への参加

説明会に参加し、採用までの流れについて把握してください。

2.書類送付(学院→新入生)

スカラネット入力下書き用紙、「マイナンバー提出書」のセット、スカラネット入力時に必要なID・パスワード、返信用封筒を郵送します。(4月13日発送)

3.書類返送(新入生→学院)

学院から郵送された書類に同封されている返信用封筒に、給付奨学金に申込をする方は「給付奨学金確認書」、貸与奨学金に申込をする方は「確認兼個人情報情報の取扱いに関する同意書」を入れて学院に郵送してください。

4.スカラネット入力下書き用紙の記入

「スカラネット入力要領【貸与】」を参照し、下書き準備用紙の記入をしてください。疑問点等あれば、学院奨学金担当者にお問い合わせください(オフィスアワー)。

5.スカラネット申込 ※4月22日(木)23:00まで

期限までにスカラネットから申込をしてください。

貸与奨学金と給付奨学金を併用で申込する方への注意事項

■スカラネット入力下書き用紙

スカラネットの下書き用紙は給付奨学金案内に挟まれています。
スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金(貸与併用申込み)用】に記入してください。

※スカラネット入力下書き用紙【貸与奨学金のみ申込み用】は使用しません。

■給付奨学金の記入項目について

別マニュアル「島根リハビリテーション学院におけるスカラネット入力下書き用紙記入要領・スカラネット入力要領【給付】」で確認してください。

■第一種奨学金を申込する方・または現在貸与中の方

給付奨学金を受給中は、給付奨学金の決定する区分に応じて
申込時に選択した貸与月額及び貸与中の月額から減額または
増額されることがあります。(貸与奨学金案内P. 7)

※まず貸与奨学金の保証制度を決定してください

機関保証

貸与奨学金案内P.22-23

一定の保証料を保証機関に支払うことにより
連帯保証人/保証人に代わって連帯保証をする制度

保証料(例)

貸与奨学金案内P.22-23

第一種 月額 50,000円 → 月額 1,786円 振込額 48,214円

第二種 月額 80,000円 → 月額 4,320円 振込額 75,680円

人的保証

貸与奨学金案内P.24-26

連帯保証人/保証人が保証を引き受ける制度
※必ずお願いする方に了承を得てから申込すること

- 連帯保証人の選任条件: 原則、父母
- 保証人の選任条件: 原則、おじ・おば・兄弟姉妹など
65歳未満の4親等以内の親族

選任条件にあてはまらない人を選任する場合、保証人の資産等に関する証明書類の提出が必要

【給付奨学金・貸与奨学金】

併用 希望

【貸与奨学金】

のみ希望

給付奨学金案内に挟み込まれています。 貸与奨学金案内に挟み込まれています。

※下書き用紙に表示している内容は2021年1月現在のものであり、実際の表示とは異なる場合があります※

2021年度
スカラネット入力下書き用紙
【給付奨学金（貸与併用申込み）用】

独立行政法人
JASSO 日本学生支援機構
Japan Student Service Organization

給付奨学金と貸与奨学金の両方、又は給付奨学金のみを申し込む際の「スカラネット入力下書き用紙」です。
スカラネット入力画面には、給付奨学金及び貸与奨学金それぞれに関する設問があり、希望する奨学金の種類により表示される設問が異なります。表示された設問について入力してください。

インターネットによる奨学金申込み（スカラネット）にあたっては、「給付奨学金案内（在学採用）」を熟読し、申込内容を保護者（親権者又は未成年後見人）と相談して決めてください。
「給付奨学金案内」及び以下の注意事項を参照してこの下書き用紙に記入し、間違いないことを確認した上で日本学生支援機構のスカラネット用ホームページにアクセスして入力してください。入力が完了すると、「奨学金申込情報一覧」が表示されますので、内容を再確認し、画面を印刷するなどして、保管してください。

氏 名	学籍番号	学部・学科・分野
受 付 番 号		

以下の3点は、必ず手元を用意してください。
・学校から受け取った識別番号（ユーザIDとパスワード）
・奨学金振込口座（本人名義）の通帳などのコピー（本冊子16ページに貼り付けてください。）
・マイナンバー提出書

スカラネット用ホームページアドレス（URL）<https://www.sas.jasso.go.jp/>
受付時間 8：00～25：00（最終締切日の受付時間は 8：00～24：00）
※受付時間を過ぎると画面が強制終了します。余裕をもって入力できるよう、入力開始時間には注意してください。（入力時間の目安：30分～1時間）

【スカラネット入力内容記入欄】

※インターネットで申し込む際は、「給付奨学金申込み」のページ「文字入力」で文字を入力してください。

ログイン
あなたの識別番号（ユーザIDとパスワード）を入力して、下の「ログイン」ボタンを押してください。
（※パスワード入力の際は全角・半角、大文字・小文字の区別をします。）

ユーザID パスワード

「給付奨学金申込み」のページには、「給付奨学金申込み」に、「貸与奨学金申込み」を「給付併用申込み」に選択してください。
あなたの（あなたが本人であること）を証明する書類（マイナンバー提出書）を提出してください。
※提出書類の提出方法は、提出書類の提出方法のページをご覧ください。

ログインのユーザーID・パスワードは4月13日に学院から郵送します。

※下書き用紙に表示している内容は2021年1月現在のものであり、実際の表示とは異なる場合があります※

2021年度
スカラネット入力下書き用紙
【貸与奨学金のみ申込み用】
（大学・短期大学・専修学校専門課程）

独立行政法人
JASSO 日本学生支援機構
Japan Student Service Organization

貸与奨学金のみを申し込む際の「スカラネット入力下書き用紙」です。
在学している学校が確認大学等（給付奨学金対象校）であり、給付奨学金と貸与奨学金を希望する場合は、給付奨学金案内に挟み込まれている「スカラネット入力下書き用紙（貸与併用申込み）用」を使用してください。

インターネットによる奨学金申込み（スカラネット）にあたっては、「貸与奨学金案内（在学案内）」を熟読し、申込内容を保護者（親権者又は未成年後見人）と相談して決めて「奨学金案内」及び以下の注意事項を参照してこの下書き用紙に記入し、間違いないことを確認した上で日本学生支援機構のスカラネット用ホームページにアクセスして入力してください。
・奨学金申込情報一覧」が表示されますので、内容を再確認し、画面を印刷するなどして、保管してください。

氏 名	学籍番号	学部・学科・分野
受 付 番 号		

【スカラネット入力の際、手元に用意する書類】

・学校から受け取った識別番号（ユーザIDとパスワード）
・奨学金振込口座（本人名義）の通帳などのコピー（本冊子16ページに貼り付けてください。）
・マイナンバー提出書（奨学金採用・応急採用の申込みを除く）

スカラネット用ホームページアドレス（URL）<https://www.sas.jasso.go.jp/>
受付時間 8：00～25：00（最終締切日の受付時間は 8：00～24：00）
※受付時間を過ぎると画面が強制終了します。余裕をもって入力できるよう、入力開始時間には注意してください。（入力時間の目安：30分～1時間）

【スカラネット入力内容記入欄】

※インターネットで申し込む際は、「貸与奨学金案内」40ページ「（ウ）文字入力」を参照して文字を入力してください。

ログイン
あなたの識別番号（ユーザIDとパスワード）を入力して、下の「ログイン」ボタンを押してください。
（※パスワード入力の際は全角・半角、大文字・小文字の区別をします。）

ユーザID パスワード

「給付奨学金申込み」のページには、「給付奨学金申込み」に、「貸与奨学金申込み」を「給付併用申込み」に選択してください。

・氏名・学籍番号記入

※学籍番号は説明会に参加した学生に口頭とスライドでお伝えします。

説明会に参加できなかった学生については個別に学院奨学金担当者にお問い合わせください。

・学部・学科・分野は「医療・その他」と記入

・入力後に表示される受付番号を記入

⇒マイナンバー提出時に必要です。
必ず記入してください。

マイナンバー提出書はマイナンバー提出書セット(水色)の中に入っています。

住所を入力する際の注意事項

郵便番号 - ←半角で入力し検索

住所 1

検索して表示された住所一覧から選択

住所 2

住所 1 の自動表示を確認したうえで
続きの番地以降の住所を全角で入力

※住所は正しく入力

集合住宅の場合は、建物名・号棟・部屋番号も忘れずに入力

B-誓約欄

日本学生支援機構理事長 殿

私は貴機構奨学金の申込みにあたり、学校に提出した「確認書兼同意書」にしたがい、奨学生に採用決定後は速やかに「返還誓約書」を提出し、貸与が終了した後は滞りなく返還すること及び以下の申込み記載事項については正しく記入することを誓約します。

誓約日 令和 年 月 日
(半角数字)

氏名 (全角漢字) 姓 名
5文字以内 5文字以内

氏名 (全角カナ) 15文字以内 15文字以内

生年月日 (和暦) (半角数字) 年 月 日生

生年月日の入力をするとき、正しく成年判定を行うことができますので注意してください。

<参考>

和暦	西暦	和暦	西暦
6	1994	11	1999
7	1995	12	2000
8	1996	13	2001
9	1997	14	2002
10	1998	15	2003

国籍 ☐ 日本国籍 ☐ 日本国籍以外

国籍が「日本国籍以外」の場合、在留資格を選択してください。

※国籍が「日本国籍以外」を選んだ人は、在留資格の証明書類を学校へ提出する必要があります。
※在留資格が永住者又は特別永住者の場合は、在留期間(満了日)の入力は不要です。

在留資格

在留期間(満了日) 西暦(半角数字4桁) 年 月 日

在留資格が「定住者」の場合、日本に永住する意思がありますか。 ☐ はい ☐ いいえ

※誓約日は以後訂正することができます。

あなたが在学している学校が確認大

B-誓約欄

誓約日はスカラネットに入力した日

氏名漢字・カナは全角

生年月日を入力

国籍を選択

※外国籍の方は在留資格・在留期間を入力

2/8

C-奨学金申込情報

1. あなたの希望する貸与奨学金を1つ選択してください。

(a). 第一種奨学金又は第二種奨学金のどちらかを希望する人のみ記入してください。

- (1) 第一種奨学金のみ希望します。
- (2) 第一種奨学金を希望するが、不採用の場合第二種奨学金を希望します。
- (3) 第二種奨学金のみ希望します。

(b). 併用貸与を希望する人のみ記入してください。

- (4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみ希望します。
- (5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合第一種奨学金のみ希望します。
- (6) 併用貸与不採用及び第一種奨学金不採用の場合、第二種奨学金を希望します。
- (7) 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。

(c). 現在奨学金の貸与を受けている人のみ記入してください。

- (8) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、第一種奨学金への変更を希望します。
- (9) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、第二種奨学金への変更を希望します。
- (10) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
- (11) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
- (13) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。併用貸与不採用の場合、第二種奨学金への変更を希望します。
- (14) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。併用貸与不採用の場合、第一種奨学金への変更を希望します。

※(12) は欠番です

上記 (8)、(9)、(10)、(11)、(13)、(14) を選択した人は奨学生番号を記入してください。

奨学生番号 (半角数字) (例: 021 04 999999)

留資格が法定特別永住者又は永住者の場合は、在留期間(満了日)の入力は不要です。

在学している学校が確認大学等(短大・専門学校・専修学校)である場合は、C-奨学金申込情報の「2.貸与奨学金を希望しますか。」で「希望します」を選択すると表示されます。

C-奨学金申込情報

貸与奨学金の希望を確認

号を入力する。
○奨学生番号(021又は021から始まる奨学生番号)が未決定の場合
→(a)の(1)又は(3)を選択し、別途「変更希望」であることを学校担当者に申し出る。

(8) (9) (13) (14) を選択した人は奨学生番号を必ず入力してください。

【(10)、(11)、(13)、(14)を選択する人へ】

①既に第一種・第二種のどちらか一方を貸与中の人、予約採用者、又は短期大学・高等専門学校・専修学校から大学への編入学により第二種奨学金を継続する人で、今回の申込みでさらにもう一方の奨学金を申し込み、併用貸与を希望する場合は(10)又は(11)を選択してください。予約採用又は大学への編入学による継続貸与の奨学生番号(021又は021から始まる奨学生番号)が未決定の場合、奨学生番号欄は入力不要です。
なお、併用貸与を受ける場合は併用貸与の学力基準(奨学金案内110ページ参照)及び家計基準(収入・所得の目安は11ページ参照)を満たすことが必要です。

D-あなたの在学情報

1. 学校

- (1) あなたの学校名を確認してください。 (1) ××大学
- (2) あなたの学籍番号を入力してください。 (2) (半角英数字記号)
- (3) あなたの在学している学部(科)名を選択してください。 (3)
- (注) 短期大学・専門学校に在学している方は学校の指示にしたがって選択してください。
- (4) あなたは専攻科または別科に在学していますか。 (4) ☐いいえ ☐専攻科 ☐別科
- (5) 学年を入力してください。 (5) (半角数字) 学年
- (6) 昼夜課程を選択してください。
- (6) ☐昼 (昼夜間講義含む) ☐夜 ☐通年スクーリング ☐昼間スクーリング
- (7) 現在通っている学校への入学について、次の①～③のうち該当するものを選択し、入学年月等を記入してください。
- ☐①現在通っている学校の1年次(入学した。)(同一校で転学・科している場合を含む)
- 入学した年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月
- ☐②現在通っている学校の2年次以上の学年(課程)に、他の学校から編入学又は転学した。(以下3つの年月を全て記入してください)
- 現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月
- 現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月
- 現在通っている学校へ編入学又は転学した年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月
- ☐③現在通っている学校の2年次以上の学年(課程)に、他の学校から編入学又は転学した(編入学又は転学の前に在学していた学校(大学・短大・高専・専門学校)が2つ以上ある)。(以下5つの年月を全て記入してください)
- 【1回目の編入学】
- 2回目の学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月
- 2回目の学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月
- 2回目の学校へ編入学又は転学した年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月
- 【2回目の編入学】
- 現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月
- 現在通っている学校へ編入学又は転学した年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月
- (8) あなたの正統の卒業予定年月を入力してください。 (8) 西暦(半角数字4桁) 年 月 卒業 予定
- (9) あなたの正統の修業年限を記入してください。 (9) (半角数字) 年 月

<入学・卒業予定年月早見表>

2021年4月現在 1年生

修業年限	入学年月	卒業予定年月
2年		2023/3
3年		2024/3
4年	2021/4	2025/3
5年		2026/3
6年		2027/3

2021年4月現在 3年生

修業年限	入学年月	卒業予定年月
3年		2022/3
4年	2019/4	2023/3
5年		2024/3
6年		2025/3

2021年4月現在 2年生

修業年限	入学年月	卒業予定年月
2年		2022/3
3年		2023/3
4年	2020/4	2024/3
5年		2025/3
6年		2026/3

2021年4月現在 4年生

修業年限	入学年月	卒業予定年月
4年		2022/3
5年	2018/4	2023/3
6年		2024/3

※長期履修学生について

長期履修学生(「奨学金案内」15ページ参照)については、原則として奨学金を受けることのできる期間は通常課程の標準修業年限に相当する期間のみとなります。この場合、卒業予定年月は通常課程の卒業予定年月を、修業年限は通常課程の標準修業年限を記入のうえ、学校担当者へ申し出てください。

(2021年4月入学者の例)

通常課程の標準修業年限は2年・卒業予定年月は2023年3月
3年かけて履修し2024年3月が卒業予定年月となる長期履修学生

D-あなたの在学情報

(2) 学籍番号は説明会時に伝えた5桁を入力

(3) 「医療・その他」を選択

(4) 上級学科に在学しているかの確認
→「いいえ」を選択(5) 学年はP.4の入学・卒業予定早見表を参照し、
実質学年を入力
編入学の場合は、編入した学年を入力

(6) 「昼」を選択

(7) 編入学・転学をしていない方は、
①に入学年月を入力
他学校から編入学・転学をした方は
②または③の内容を入力

Dーあなたの在学情報

1. 学校

- (1) あなたの学校名を確認してください。 (1) × × 大学
- (2) あなたの学籍番号を記入してください。 (2) (半角英数字記号)
- (3) あなたの在学している学部 (科) 名を選択してください。 (3)
- (注) 短期大学・専修学校在学している方は学校の指示にしたがって選択してください。
- (4) あなたは専攻科または別科に在学していますか。 (4) ☐いいえ ☐専攻科 ☐別科
- (5) 学年を記入してください。 (5) (半角数字) 学年
- (6) 経歴課程を選択してください。
- (6) ☐昼 (昼夜間講義含む) ☐夜 ☐通年スクーリング ☐昼間スクーリング
- (7) 現在通っている学校への入学について、次の①～③のうち該当するものを選択し、入学年月等を記入してください。
- ☐①現在通っている学校の1年次(入学した)。(同一校で転学・科している場合を含む)
- 入学した年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月
- ☐②現在通っている学校の2年次以上の学年(課程)に、他の学校から編入学又は転学した。(以下3つの年月を全て記入してください)
- 現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月
- 現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月
- 現在通っている学校へ編入学又は転学した年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月
- ☐③現在通っている学校の2年次以上の学年(課程)に、他の学校から編入学又は転学した(編入学又は転学の前には在学していた学校(大学、短大、高専、専門学校)が2つ以上ある)。(以下5つの年月を全て記入してください)
- 【1回目の編入学】
- 2回目の学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月
- 2回目の学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月
- 2回目の学校へ編入学又は転学した年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月
- 【2回目の編入学】
- 現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月
- 現在通っている学校へ編入学又は転学した年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月
- (8) あなたの正規の卒業予定年月を記入してください。 (8) 西暦(半角数字4桁) 年 月 卒業 予定
- (9) あなたの正規の修業年限を記入してください。 (9) (半角数字) 年 か月

<入学・卒業予定年月早見表>

2021年4月現在 1年生			2021年4月現在 2年生		
修業年限	入学年月	卒業予定年月	修業年限	入学年月	卒業予定年月
2年		2023/3	2年		2022/3
3年		2024/3	3年		2023/3
4年	2021/4	2025/3	4年	2020/4	2024/3
5年		2026/3	5年		2025/3
6年		2027/3	6年		2026/3

2021年4月現在 3年生			2021年4月現在 4年生		
修業年限	入学年月	卒業予定年月	修業年限	入学年月	卒業予定年月
3年		2022/3	4年		2022/3
4年	2019/4	2023/3	5年	2018/4	2023/3
5年		2024/3	6年		2024/3
6年		2025/3			

※長期履修学生について

長期履修学生(「奨学金案内」15ページ参照)については、原則として奨学金を受けることのできる期間は通常課程の標準修業年限に相当する期間のみとなります。この場合、卒業予定年月は通常課程の卒業予定年月を、修業年限は通常課程の標準修業年限を記入のうえ、学校担当書へ申し出てください。

(2021年4月入学者の例)

通常課程の標準修業年限は2年・卒業予定年月は2023年3月

3年かけて履修し2024年3月が卒業予定年月となる長期履修学生

(2) 学籍番号は半角英数字や半角ハイフン()以外の文字を入力することができません。学籍番号にそれ以外の文字が使われている場合、学校の指示に従ってください。

(4) 専修学校は、「あなたは、上級学科に在学していますか」という設問が表示されます。学校からの指示がない限り(4)は「いいえ」を選択してください。

(5) 下記に前掲の<入学・卒業予定年月早見表>を参照し、卒業年月に合わせた実質学年を入力してください。編入学の場合は編入した学年を入力してください。

(例)

○2年次休学のため3年次へ進級できなかった場合→2学年

○3年次編入→3学年

(6) 通学課程の学生は「昼(昼夜間講義含む)」又は「夜」を選択してください。

(7) ①～③

いいえ

編入

いた

ず。

なお、

大学の

門下生

は、

(例)

2019

3月に

大学へ

・編

入

・編

入

・編

入

・編

入

・編

入

・編

入

・編

入

・編

入

・編

入

・編

入

・編

入

・編

入

・編

入

・編

入

・編

入

(8) 正規の卒業予定期

休学などの経歴がない学生

1年:2025年3月 3年:2023年3月

2年:2024年3月 4年:2022年3月

(9) 正規の修業年限 「4年0か月」

(8) 通常は正規の卒業予定年月を入力します。例えば新入生で2年課程の人は2023年3月になりますが、過去に休学や留年をしたことがある人は、入学当初の卒業予定ではなく、今現在の卒業予定期を入力してください(注に前掲の<入学・卒業予定年月早見表>を参照してください)。なお、年度途中修了など特別な事情により、卒業月が3月以外になる学部・学科に在籍する場合は学校に確認してください。

(9) 「修業年限」とは、あなたの学部・学科が何年課程のものかという意味です。

※既時点からあと何年通うかという意味ではありません。入力間違いをしないよう注意してください。

(例)

○4年課程の3年次に在学(編入)する人の修業年限は4年。

F－奨学金貸与額情報

1. 第一種奨学金を希望する人は次のことにご覧ください。

(1) お申込の希望する月額を1つ選択してください。

(3)

【2018年度以降入学者(2018年4月以降の入学者年を入力した人)の貸与月額】

区分 月額の 種類	大学				短大・大学・専門学校（専門課程）			
	国・公立		私立		国・公立		私立	
	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外
最高月額	4万5千円	5万1千円	5万4千円	6万4千円	4万5千円	5万1千円	5万3千円	6万円
				5万円				5万円
最高月額 以外の月額	3万円	3万円	4万円	4万円	4万円	4万円	4万円	4万円
	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円

⇒ 最高月額を選択した人は、以下の質問にご覧ください。

貸与月額3万円は一定の条件を満たした場合にのみ貸与を受けられる月額です。
条件を満たさなかった場合に希望する月額を選択してください。

⇒最高月額を選択した方は、最高月額が認められなかった場合の月額も選択

第一種興学
訳できます
のうえ、ど

第一種奨学
過去に第一
し学種（大
度新たに第

F-興学
と答えた

「地方創生
地元産業界
手となる学
金を設置し
た。世界大

ブルダウ
てくださ

供用費と
供用費と
を参照し

供用費と
下敷品に
関係する

春の定期
9月のい
の設備3
課長と人

入学時特別
において
そのため、
教員会の

入学生の
奨学金を
て学校へ
存出。入
学費は、

「興学全案」

同一の学校区分（大学・短大・専門学校等）で2回以上第二種奨学金の貸付を受けている人に表示されます。

受けていた⇒「はい」を選択し、その奨学生番号を入力

H-保証

※第一種・第二種併用の方はそれぞれの保証制度を選択

※ 有休のマイナンバーを申請書に提出できない場合や、緊急採用・応急採用に申し込む場合は、**住民票住所の入力**に必ず注意。

※ 郵便番号を郵便局ホームページ等に住所より正確に確認してください。郵便番号を入力して「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所1」に自動選択されますので、お住みの住所を選択してください。「住所2」には、「住所1」で選択した住所以降を、**建物等が重複しないよう**に入力してください。

※ 登記の「住所の入力欄」参照。

※ 固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらと入力しても構いません。

重要
英数字やハイフン、スペースの「全角・半角」に誤りがあると進めません。

H-保証制度
1. あなたが希望する保証制度を選択してください。

- ☐ (1) 人的保証
- ☐ (2) 機関保証

併願又は併用で申し込み (2/8 画面 C-奨学金申込情報) にて、(2)、(4)、(5)、(6)、(7) を選択した場合、かつ 2/8 画面 F-奨学金貸与額情報 にて第一種奨学金の返還方法を「所得連動返還方式」と選択した場合は、第一種奨学金の保証制度は「機関保証」となります(「人的保証」のボタンは押しません)。また、第二種奨学金の保証制度はこの画面で選択します。

4/8
H-保証制度
1. 第一種奨学金についてあなたが希望する保証制度を選択してください。

- ☐ (1) 人的保証 (ボタンが押せません)
- ☒ (2) 機関保証

所得連動返還方式を希望する場合、保証制度は「機関保証」になります。

2. 第二種奨学金についてあなたが希望する保証制度を選択してください。

- ☐ (1) 人的保証
- ☐ (2) 機関保証

I-あなたの返還誓約書情報・給付誓約書情報

1.あなた自身について

- (1) 氏名を確認
- (2) 性別を選択(任意)
- (3) 生年月日を確認

5/8
I-貸与奨学金返還誓約書情報・給付奨学金本人等情報

1. あなた自身について入力してください。

(1) あなたのお名前△△ ○○さんですね。 ←

(2) あなたの性別を選択してください。(任意) (2)

(3) あなたの生年月日は××年△△月○○日ですね。 (3) 成年判定

(4) あなたの現住所を記入してください。

※申込者本人のマイナンバーを申込時に提出できない場合は、住民票住所を入力してください。

(4) (郵便番号) (半角数字)

住所 1 (自動入力)

住所 2 (番地以降) (全角文字)

(5) あなたの電話番号を記入してください。

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(5) (半角数字)

携帯電話の電話番号を記入してください。 (携帯) (半角数字)

(4)あなたの現住所を入力

※授業開始日以降に居住する
住所を入力

住所の入力例

(郵便番号) 162-9999 ←押下

注意！
表示された住所一覧の中から、正しい住所を選択してください。

住所1(自動入力) ○東京都 新宿区 市谷本町 1丁目
○東京都 新宿区 市谷本町 2丁目
○東京都 新宿区 市谷本町 3丁目

住所2(番地以降) 99-9 機構ハイツ 505

注意！
※番地以降を全て全角で入力してください(英数字やハイフン、スペースを含む)。入力漏れがあると次の画面に進めません。
※番地以降のない住所は、住所2欄に全角で「.(ピリオド)」を入力してください。
※住所2欄には、住所1欄の表示部分を入力しないでください。
上記例の場合、住所1欄で「1丁目」を選択し、住所2欄に「1丁目 99-9...」と入力した場合、届出内容は「1丁目1丁目 99-9 ...」となります。

(5)あなたの電話番号を入力

固定番号と携帯番号の両方所有
の場合は両方入力

スペースの「全角・半角」に誤りがあると進めません。

※「H-保証制度」での選択によって、⑨～⑩ページの記入する場所が変わります。

「人的保証」を選択した人 → 下記の「連帯保証人・保証人について」を読んだうえで、⑨ページの「2.連帯保証人と保証人について」以降を記入してください。

「機関保証」を選択した人 → ⑩ページの「3.本人以外の連絡先について」以降を記入してください。

連帯保証人・保証人について

H-保証制度で「人的保証」を選択した人は、連帯保証人及び保証人を1人ずつ（合計2人）入力する必要があります。

連帯保証人は、奨学金の返還についてあなたと同等の責任を負います。

保証人には、申し出により認められる「分別の利益」等の権利があります（連帯保証人にはありません）。詳しくは、「奨学金案内」24ページを参照してください。

また、「奨学金案内」24～26ページにより、選任した連帯保証人・保証人が機構の定める条件をクリアしてください。選任条件を全て満たし、かつ必要書類を提出できる場合は、連帯保証人として選任できますので、⑨ページの(1)、及び⑩ページの(2)を記入してください。

もし、1つでも選任条件を満たさない、又は必要書類を提出できない場合は、連帯保証人・保証人できません。あらかじめ条件に合致する別の人を選任しなければなりません。条件に合致する人を選任する場合は、H-保証制度で「機関保証」を選択し、連帯保証制度を変更してください。

採用時に提出しなければならない書類（返還誓約書）には、スカラネットで入力した連帯保証人・保証人（実印）し、印鑑登録証明書等を添付しなければなりません。スカラネット入力前に、保証人として予定している人に役所、自署・押印、提出書類について説明し、奨学金の返還についてこの承諾を得ておいてください。

2. 連帯保証人と保証人について

あなたは保証制度画面で「人的保証」を選択しています。連帯保証人及び保証人について入力してください。

(1) 連帯保証人について入力してください。

- ・あなた（申込者）が未成年の場合は、連帯保証人には親権者（未成年後見人）を選任してください。
- ・あなた（申込者）が成年の場合は、原則として、父母・兄弟姉妹又はおじ・おば等に入力してください。
- ・未成年者等保護能力がない人は認められません。
- ・婚姻関係（離婚等）中の人を連帯保証人に選任することは認められません。

(a) その他氏名 (b) 住所

(a) 漢字（全角漢字）
力オ（全角カタ）

(a) その他生年月日 (b) (期選) (年再数字) 年 月 日 生

(c) あなたとの関係 (d) 住所

未成年後見人の場合は、その住所

連帯保証人の印鑑登録証明書（市区町村発行）に記載されている住所を入力してください。

※印鑑登録証明書には住所と別居が記載されています。

(e) (期選番号) (年再数字) 住所 姓 名

住所1 (自動入力) 住所2 (選択入力) (全角漢字)

(a) その他電話番号 (b) 住所

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(a) (年再数字) (b) (年再数字)

(c) (年再数字) (d) (年再数字)

(e) (年再数字) (f) (年再数字)

人的保証を選択した人は、⑩ページの「(2)の保証人について」も入力してください。

H-保証制度の選択により 記入する場所が変わります。

【人的保証】を選択した方の画面

2.連帯保証人（原則、父母） の氏名、住所等を入力

※住所・生年月日は、連帯保証人の印鑑登録証明書と同じ情報を入力すること

※勤務先名・勤務先電話番号は源泉徴収票等で確認し、正しく記入すること

機関保証を選択した人は、下段の「3. 本人以外の連絡先について」を記入してください。

(2) 保証人について入力してください。

- 原則として、4親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。
- 未成年者等保証能力がない人は認められません。
- 債務整理（破産等）中の人を保証人に選任することは認められません。

(a) その氏名 (a) 漢字（全角漢字）姓 名
カナ（全角カナ）

(b) その生年月日 (b) (和暦) (半角数字) 年 月 日生

(c) あなたとの続柄 (c)

(d) その住所

・保証人の印鑑登録証明書（市区町村発行）に記載されている住所を入力してください。

※印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。

(d) (郵便番号) (半角数字) 住所検索

住所1（自動入力）

住所2（番地以降）（全角文字）

(e) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(e) (半角数字)

その携帯電話の電話番号 (携帯) (半角数字)

(f) その勤務先 (f) (全角文字)

勤務先電話番号 (半角数字)

※保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。

無職 ☐

(g) 連帯保証人と保証人は別生計ですね。 (g) ☐ はい ☐ いいえ

※連帯保証人、保証人に相応しい人物かどうか。入力情報を元に判定を行います。年齢による判定では、各人物の誓約日（B-誓約欄で入力した年月日）時点での年齢を元に判定を行います。

あなたからみた親類です。

(例) おじ、おば

※以下の場合には、「その他（知人等）」と記入（選択）してください。

・離婚により親権を失った父母

・養子縁組により親権を失った本人の実父母

・配偶者の父母

「父（母）」や「その他（4親等以内）」を選択しないでください。

・郵便番号を事前に確認してください。

郵便番号入力後、「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相応する住所が「住所1」に自動表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所2」には、「住所1」で選択した住所以降を、番地等が重複しないように入力してください。

※B-ページの「住所の入力例」参照。

・固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらも入力してください。

※勤務先名・勤務先電話番号は源泉徴収票等で確認し、正しく記入すること

※住所・生年月日は、保証人の印鑑登録証明書と同じ情報を入力すること

2.保証人の氏名、住所等を入力（原則、おじ、おば等の4親等以内の親族）

※住所・生年月日は、保証人の印鑑登録証明書と同じ情報を入力すること

※勤務先名・勤務先電話番号は源泉徴収票等で確認し、正しく記入すること

※住所・生年月日は、保証人の印鑑登録証明書と同じ情報を入力すること

※勤務先名・勤務先電話番号は源泉徴収票等で確認し、正しく記入すること

※住所・生年月日は、保証人の印鑑登録証明書と同じ情報を入力すること

※勤務先名・勤務先電話番号は源泉徴収票等で確認し、正しく記入すること

※住所・生年月日は、保証人の印鑑登録証明書と同じ情報を入力すること

※勤務先名・勤務先電話番号は源泉徴収票等で確認し、正しく記入すること

※住所・生年月日は、保証人の印鑑登録証明書と同じ情報を入力すること

※勤務先名・勤務先電話番号は源泉徴収票等で確認し、正しく記入すること

※住所・生年月日は、保証人の印鑑登録証明書と同じ情報を入力すること

※勤務先名・勤務先電話番号は源泉徴収票等で確認し、正しく記入すること

※住所・生年月日は、保証人の印鑑登録証明書と同じ情報を入力すること

※勤務先名・勤務先電話番号は源泉徴収票等で確認し、正しく記入すること

※住所・生年月日は、保証人の印鑑登録証明書と同じ情報を入力すること

※勤務先名・勤務先電話番号は源泉徴収票等で確認し、正しく記入すること

※住所・生年月日は、保証人の印鑑登録証明書と同じ情報を入力すること

※勤務先名・勤務先電話番号は源泉徴収票等で確認し、正しく記入すること

※住所・生年月日は、保証人の印鑑登録証明書と同じ情報を入力すること

※勤務先名・勤務先電話番号は源泉徴収票等で確認し、正しく記入すること

※住所・生年月日は、保証人の印鑑登録証明書と同じ情報を入力すること

※勤務先名・勤務先電話番号は源泉徴収票等で確認し、正しく記入すること

※住所・生年月日は、保証人の印鑑登録証明書と同じ情報を入力すること

※勤務先名・勤務先電話番号は源泉徴収票等で確認し、正しく記入すること

※住所・生年月日は、保証人の印鑑登録証明書と同じ情報を入力すること

※勤務先名・勤務先電話番号は源泉徴収票等で確認し、正しく記入すること

※住所・生年月日は、保証人の印鑑登録証明書と同じ情報を入力すること

※勤務先名・勤務先電話番号は源泉徴収票等で確認し、正しく記入すること

※住所・生年月日は、保証人の印鑑登録証明書と同じ情報を入力すること

※勤務先名・勤務先電話番号は源泉徴収票等で確認し、正しく記入すること

※住所・生年月日は、保証人の印鑑登録証明書と同じ情報を入力すること

※勤務先名・勤務先電話番号は源泉徴収票等で確認し、正しく記入すること

※住所・生年月日は、保証人の印鑑登録証明書と同じ情報を入力すること

※勤務先名・勤務先電話番号は源泉徴収票等で確認し、正しく記入すること

※住所・生年月日は、保証人の印鑑登録証明書と同じ情報を入力すること

※勤務先名・勤務先電話番号は源泉徴収票等で確認し、正しく記入すること

※住所・生年月日は、保証人の印鑑登録証明書と同じ情報を入力すること

※勤務先名・勤務先電話番号は源泉徴収票等で確認し、正しく記入すること

H-保証制度の選択により 記入する場所が変わります。

【人的保証】を選択した方の画面

2.保証人の氏名、住所等を入力 （原則、おじ、おば等の4親等以内の親族）

※住所・生年月日は、保証人の印鑑登録証明書 と同じ情報を入力すること

※勤務先名・勤務先電話番号は源泉徴収票等で 確認し、正しく記入すること

未成年の人は、11 ページ「4. 親権者（未成年後見人）について」も記入してください。

3. 本人以外の連絡先について

あなたは保証制度画面で「機関保証」を選択しています。あなた以外の連絡先について入力してください。

(1) その氏名 (1) 漢字（全角漢字）姓 名
カナ（全角カナ）

(2) その生年月日 (2) (和暦) (半角数字) 年 月 日生

(3) あなたとの続柄 (3)

(4) その住所 (4) (郵便番号) (半角数字) 住所検索

住所1（自動入力）

住所2（番地以降）（全角文字）

(5) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(5) (半角数字)

その携帯電話の電話番号 (携帯) (半角数字)

H-保証制度

場合に示す

機関保証を

本人以外の連絡先

に記入する

電話番号を

※注意！「本

必ずその人

入力した「

と近親者等

誓約書に

関係者の

・郵便番号を郵便局ホームページ等で住所を

もと事前に確認してください。

郵便番号入力後、「住所検索」ボタンを押

すと、入力した郵便番号に相応する住所が

「住所1」に自動表示されますので、お住

まいの住所を選択してください。「住所2」

には、「住所1」で選択した住所以降を、番

地等が重複しないように入力してください

※B-ページの「住所の入力例」参照。

・固定電話と携帯電話を両方所有している場

合は、どちらも入力してください。

未成年の人は、11 ページ「4. 親権者（未成年後見人）について」も記入してください。

機関保証を選択した人は、下段の「3. 本人以外の連絡先について」を記入してください。

(2) 保証人について入力してください。

- 原則として、4親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。
- 未成年者等保証能力がない人は認められません。
- 債務整理（破産等）中の人を保証人に選任することは認められません。

(a) その氏名 (a) 漢字（全角漢字）姓 名
カナ（全角カナ）

(b) その生年月日 (b) (和暦)（半角数字）年 月 日生

(c) あなたとの続柄 (c)

(d) その住所

・保証人の印鑑登録証明書（市区町村発行）に記載されている住所を入力してください。

※印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。

(d) (郵便番号)（半角数字） 住所検索

住所1（自動入力）

住所2（番地以降）（全角文字）

(e) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(e) (半角数字)

その携帯電話の電話番号 (携帯)（半角数字）

(f) その勤務先 (f)（全角文字）

勤務先電話番号 (半角数字)

※保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。

(g) 連帯保証人と保証人は別生計ですね。 (g) はい いいえ

※連帯保証人、保証人に相応しい人物かどうか。入力情報を元に判定を行います。年齢による判定では、各人物の誓約日（B～誓約期で入力した年月日）時点での年齢を元に判定を行います。

あなたからみた親類です。
(例) おじ、おば
※以下の場合は、「その他（知人等）」と記入（選択）してください。
・離婚により親権を失った父母
・養子縁組により親権を失った本人の実父母
・配偶者の父母
「父（母）」や「その他（4親等以内）」を選択しないでください。

・郵便番号を郵便局ホームページ等で住所をもとに事前に確認してください。
郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所1」に自動表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所2」には、「住所1」で選択した住所以降を、番地等が重複しないように入力してください。
※Bページの「住所の入力例」参照。
・固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。

自営業の場合は「自営業」、農家の場合は「農業」と記入してください。

無職の場合は「その勤務先」には入力せず、こちらにチェックを入力してください。

H-保証制度の選択により 記入する場所が変わります。

未成年の人は、11 ページ「4. 親権者（未成年後見人）について」も記入してください。

3. 本人以外の連絡先について

あなたは保証制度画面で「機関保証」を選択しています。あなた以外の連絡先について入力してください。

(1) その氏名 (1) 漢字（全角漢字）姓 名
カナ（全角カナ）

(2) その生年月日 (2) (和暦)（半角数字）年 月 日生

(3) あなたとの続柄 (3)

(4) その住所 (4) (郵便番号)（半角数字） 住所検索

住所1（自動入力）

住所2（番地以降）（全角文字）

(5) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(5) (半角数字)

その携帯電話の電話番号 (携帯)（半角数字）

H-保証制度
場合に示す

機関保証を
本人以外の
連絡先につ
いて入力す
る場合に、
電話番号を
入力する

※注意！「本
必すその
入力した
と近距離
誓約日に
同学生の

・郵便番号を
もとに事前
郵便番号入
力後、入力
した住所と
実際の住所
が異なる
場合は、

※Bページの「住所の入力例」参照。
・固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。

・郵便番号を
もとに事前
郵便番号入
力後、入力
した住所と
実際の住所
が異なる
場合は、

※Bページの「住所の入力例」参照。
・固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。

・郵便番号を
もとに事前
郵便番号入
力後、入力
した住所と
実際の住所
が異なる
場合は、

※Bページの「住所の入力例」参照。
・固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。

・郵便番号を
もとに事前
郵便番号入
力後、入力
した住所と
実際の住所
が異なる
場合は、

※Bページの「住所の入力例」参照。
・固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。

【機関保証】を選択した方の画面

3.保証機関に届け出る、本人以外の連絡先について入力

未成年の人は、11 ページ「4. 親権者（未成年後見人）について」も記入してください。

19

未成年の人は、下記「4.親権者（未成年後見人）について」も記入してください。

4. 親権者（未成年後見人）について

あなたは誓約日（B-誓約欄）で入力した年月日時点未成年に達していません。
未成年の場合、親権者（未成年後見人）情報を入力してください。
※親権者とは、原則父母です。

(1) 親権者（未成年後見人）1について

・連帯保証人と親権者（未成年後見人）1が同一である必要があります。
・親権者（未成年後見人）1には連帯保証人欄の入力内容が自動で登録されます。

(a) その氏名

(a) 漢字（全角漢字）
カナ（全角カナ）

(b) あなたとの関係

未成年後見人の場合は、その続柄

(c) その住所 (c) (郵便番号) (半角数字) 住所検索

住所1（自動入力）
住所2（番地以降）（全角文字）

(d) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(d) (半角数字)
その携帯電話の電話番号 (携帯) (半角数字)

(2) 親権者2について入力してください。親権者が1名の場合は、(3)に選んでください。

(a) その氏名

(a) 漢字（全角漢字）
カナ（全角カナ）

(b) あなたとの続柄

(b)

(c) その住所 (c) (郵便番号) (半角数字) 住所検索

住所1（自動入力）
住所2（番地以降）（全角文字）

(d) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(d) (半角数字)
その携帯電話の電話番号 (携帯) (半角数字)

(3) 親権者（未成年後見人）は1名のみで間違いないですか。

※親権者とは、原則父母です。 (3) ☐ はい ☐ いいえ

J-あなたの家族情報

1.社会的養護を必要とする人か回答 「はい」または「いいえ」

「はい」を選択する方は施設に入所していた等のことが分かる証明書類の提出が必要です。

3.(1)生計維持者の人数

生計維持者は原則、父母
(無職無収入の場合でも生計維持者となります)
詳細は貸与奨学金案内P.12～13参照

6/8

J-あなたの家族情報

1. あなたは社会的養護を必要とする人ですか。 ☐ はい ☐ いいえ

「はい」と答えた人は、あてはまるものを選択してください。

☐ 児童養護施設入所者等 ☐ 児童自立支援施設入所者等
☐ 児童心理治療施設入所者等 ☐ 自立援助ホーム入所者等
☐ 里親に養育されている（いた）人 ☐ ファミリーホームで養育されている（いた）人

2. あなたの家族の人数

(1) 家族全員（あなたを含む）の人数を記入してください。 (1) 人

3. 生計維持者（原則父母、父母がいない場合は代わって生計を維持する人）について記入してください。

1で「はい」と回答した人については、生計維持者について一部自動表示されます。

※父母がいる場合は、収入の有無に関わらず必ず父母ともに生計維持者として入力が必要でず（離婚等により完全に別生計の人を除く）。

(1) あなたの生計維持者の人数を選択してください。 (1) 人

未成年と判定された場合表示されます。

あなたが成年にも関わらず4が表示される場合や未成年にも関わらず4が表示されない場合

1/8画面
ている可
案内」4
入力内

※親権者
とでい
のこと
いない
を有し
ことで
同意書
力して
ことが

・郵便番
ちとに
郵便番
ずと、
「住所1
いの住
は、「住
等が重
※「回
・固定電
合は、

「親権者
選択する
親権者が
2の情報

1/8画面
人は、助
養育を受
れた証明
（証明書
施設等在
委託証明
通知書、住
半親権の
でも可

申込者と
（両方別
計にある
また、ノ
及び施設
表示され

※生計維持
12～13

生計維持
という事
場合2人
でも、生計維持者として入力する必要があり
ます。入力漏れがないか確認してください。

(2) 生計維持者①

生計維持者1人目の続柄・氏名・カナ・住所・生年月日・マイナンバーの提出についてを入力

(f) 生計維持者1人目の申込時点の所得

※1.給与所得、2.商店・農業工業・個人経営はマイナンバーにより収入情報を取得するため表示されません。

※2019年1月2日以降に勤務先が変更になっている場合、マイナンバーによる情報を取得できません。

⇒該当する方は
○2019年1月2日以降就業・転職・退職・開業・廃業しましたか。
について必ず詳細を入力してください。

[illegible]

生計維持者2人目の続柄・氏名・カナ・住所・生年月日・マイナンバーの提出についてを入力

生計維持者が1人の場合は記入不要

(f) 生計維持者2人目の申込時点の所得

※1.給与所得、2.商店・農業工業・個人経営 は
マイナンバーにより収入情報を取得するため
表示されません。

※2019年1月2日以降に勤務先が変更になっている場合、マイナンバーによる情報を取得できません。

⇒該当する方は

○2019年1月2日以降就業・転職・退職・開業・廃業
しましたか。

について必ず詳細を入力してください。

医学部とは、小・中・高、専修学校（高等）（国制私立）、通信制学校を含む。大学部には理科履修生、上記に劣生、予備生、一般学校生が医学部に在籍することがあれば、学校

4.(1)就学者と就学前の家族の人数

***就学者:小・中・高等学校・高等専門学校・
専修学校・大学・大学院
(聴講生・予備校生等は含まれません)**

(2) あなたが入学前の
置者(国立
学校等)・

(3) その付

※前の
の就学

※同居

(2)あなたの他に学校に在学している人および小学校入学前の弟妹がいる場合、全員の続柄・氏名・学校設置者(国立/公立/私立)・在学している学校(小学校/中学校等)・通学別(自宅/自宅外)を入力

(3) その他の家族の記入

※前のページで入力した生計維持者①②と、(1)(2)の就学者・就学前の弟妹を除いた同一生計の家族

※同居していても、生計が別の場合は含まれません。

[illegible]

*** 控除額は万円未満を切り上げて入力**
※控除を受ける内容によって提出書類が異なります。
詳細は奨学金案内P.39を確認してください。

1.奨学金を希望するに至った家庭事情や
特に説明を要することを入力

スカラネット入力後の注意

独立行政法人
日本学生支援機構
JASSO
Japan Student Services Organization

スカラネット

あなたの記入した学籍番号はGAK0824です。 20XX年4月1日

奨学金申込情報一覧 (イメージ画像)

あなたの入力した内容は以下の通りです。

- 記入内容に間違いがない場合は下の「送信」ボタンを押してください。「送信」ボタンを押した後に受付番号を確認してください。
- 記入内容を訂正する場合は記入内容を訂正するボタンを押してください。

提出書類の提出 規定等を了承し、提出しました。

「マイナンバー提出書」に印字されている申込ID TEST000004

B-契約欄	
あなたの氏名(漢字)	梅田太郎
あなたの氏名(カナ)	メコウタロウ
契約日	令和XX年4月1日
生年月日	平成XX年7月7日
国籍	日本国籍
在留資格	
在留期間(終了日)	
永住意思	

① B-契約欄の内容を訂正する

入力完了後、「奨学金申込情報一覧」が表示されます。

入力に間違いがないか再度確認してください。

■特に確認する項目

- 氏名・住所・電話番号
- 学籍番号(5桁)
- 生計維持者(父母)の氏名・住所・電話番号・生年月日
- 奨学金振込口座

送信をクリック

② ■重要事項確認(必須)

奨学金の申込みにあたって、以下の事項を全て確認し、理解している場合は「はい」、理解していない場合は「いいえ」を選んでください。

全ての事項を確認した後、下の「送信」ボタンを押してください。

奨学金における確認事項	はい (理解している)	いいえ (理解していない)
1. 在学中の学業成績や進捗状況が基準を満たさない場合、奨学金が受けられなくなることがあります。	はい ★	いいえ ○
2. 奨学金受給中に様々な理由や都合などによって、奨学金の給付が滞ったり、止まったりする可能性があります。	はい ★	いいえ ○
3. やむを得ない理由がなく学業成績が悪く卒業の場合、学校から退学などの処分を受けたり、給付奨学金でも給付が必要になることがあります。	はい ★	いいえ ○
4. 給付奨学金の受給額は、毎年1回、あなたの学業の進捗状況に応じて調整されます。	はい ★	いいえ ○
5. 給付奨学金で給付額を超過した場合は、受け取った金額の100分の140を返金しなければならなりません。	はい ★	いいえ ○
6. 給付奨学金はあなた本人に返還の義務があり、借入額より返すまでに返済額超過を出なければなりません。返済しない場合、返金が取り戻されます。	はい ★	いいえ ○
7. 奨学金の返済を滞ると、返還金が課税されます。返還が長くなると法的措置等が行われることがあります。	はい ★	いいえ ○

送信

スカラネット入力後の注意

送信後、受付番号が表示されます。

受付番号をスカラネット入力下書き用紙の1ページ目とマイナンバー提出書に記入してください。

奨学金申込完了 -



JASSO Japan Student Services Organization

スカラネット

奨学金申込完了

(イメージ画像)

奨学金申込完了

奨学金の申込を完了いたしましたありがとうございます。
あなたの受付番号は **10999001-204-00009** です。

受付番号は問合せの際に必要となります。
メモを取って大切に保管してください。

申込を終了します

独立行政法人日本学生支援機構 Copyright © JASSO

パソコン画面をPrintScreenまたはスマートフォンで写真を撮るなど受付番号を必ず控えておいてください。

※一度表示画面を閉じてしまうと、受付番号は再表示されません。

【再掲】島根リハビリテーション学院における 手続きの流れ①

1.説明会への参加

説明会に参加し、採用までの流れについて把握してください。

2.書類送付(学院→新入生)

スカラネット入力下書き用紙、「マイナンバー提出書」のセット、スカラネット入力時に必要なID・パスワード、返信用封筒を郵送します。(4月13日発送)

3.書類返送(新入生→学院)

学院から郵送された書類に同封されている返信用封筒に、給付奨学金に申込をする方は「給付奨学金確認書」、貸与奨学金に申込をする方は「確認兼個人情報情報の取扱いに関する同意書」を入れて学院に郵送してください。

4.スカラネット入力下書き用紙の記入

「スカラネット入力要領【貸与】」を参照し、下書き準備用紙の記入をしてください。疑問点等あれば、学院奨学金担当者にお問い合わせください(オフィスアワー)。

5.スカラネット申込 ※4月22日(木)23:00まで

期限までにスカラネットから申込をしてください。

5. マイナンバーの提出

マイナンバー提出書のセット内にある、「マイナンバー(個人番号)の提出方法」を参考に、**簡易書留**で日本学生支援機構宛に送付する

※スカラネット入力後1週間以内

4月30日(金)必着

7. 採用者説明会

6月下旬頃(予定) 奨学生証、返還誓約書を説明会で配布します。
返還誓約書に署名をし、提出していただきます。

6. 振込の確認

初回振込は 6月11日(金) の予定です。
通帳記帳等で確認してください。
提出書類に不備がある場合、振込が遅くなる場合があります。

例年、採用者説明会を行っていますが、コロナウイルスの状況によりスケジュールが変更になる可能性があります。